

編集後記

今年の冬は例年になく大雪に見舞われ、各地で雪害が大きく報道されました。会員の皆様の地区では如何でしたか。

本会誌の充実を計るためいろいろ検討が重ねられて参りました。その一つに5巻3号(1980年11月発行)から向こう2年間ぐらい、投稿料の著者負担の軽減が実施されることになりました。すなわち、原著は従来刷上り4ページ(症例報告は刷上り2ページ)まで学会負担でありましたが、今度は刷上り8ページ(症例報告は4ページ)まで学会負担となりました。しか

し、図、表、写真、別刷りなどは従来通り著者負担(実費)となっています。多くの投稿論文は今回のページ数内に集約されそうで、著者負担はかなり軽減されます。また、本号から投稿規定の掲示が簡略化されましたので、その掲示場所が変りました。編集員一同、より充実した本会誌を皆様にお届け出来るよう努力しております。会員の皆様の本会誌に対するご理解と暖いご支援をお願いすると共に、ご投稿を期待しております。(伊藤忠信)

正 誤 表

前号(5巻3号)誌、下記のところをご訂正下さい。

- 221頁に相当する第5巻総目次の原著タイトル11番目の著者名

(誤)	(正)
平 孝 清・他……136	鈴 木 隆・他……136

- 裏表紙英文目次に次のタイトル脱落のため追加

Originals
Scanning electron microscopic study of the enamel surface
with various kinds of acid……Akira FUJIMURA et al. … 163

次号誌(第6巻2号)について

投稿締切 昭和56年5月15日

発行予定日 昭和56年7年15日

本号誌 80 頁の投稿の手引きに従ってご執筆下さい。所定の原稿用紙は学会事務局(歯学部A棟4階歯学部長室副室)に備えてありますのでお申し出下さい。

岩手医科大学歯学会編集委員会